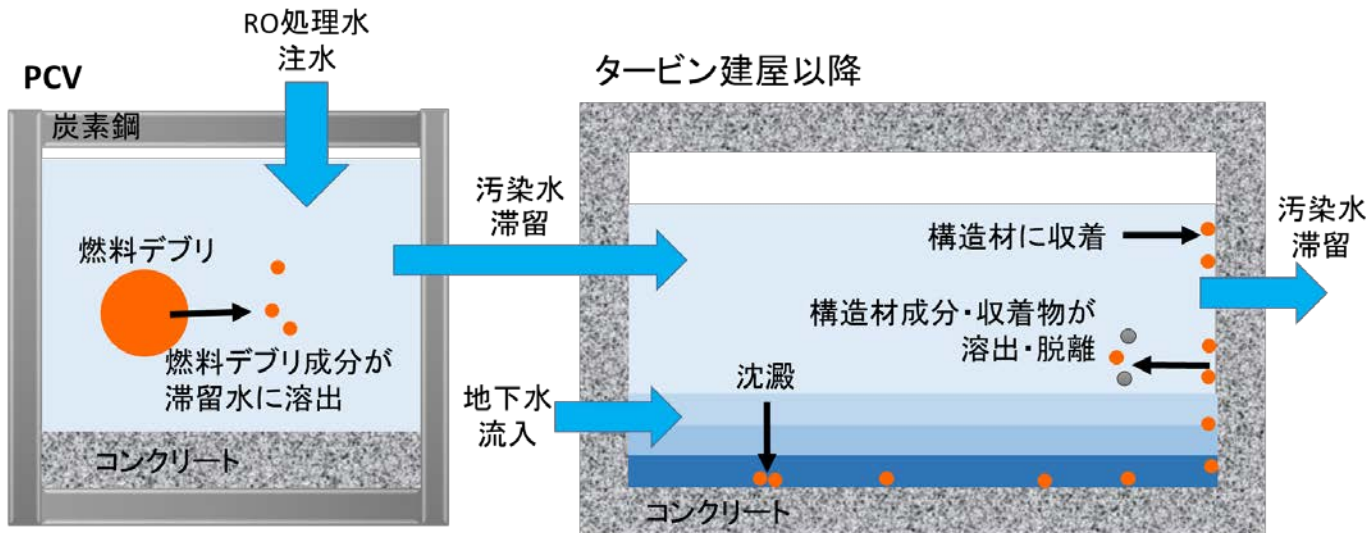


福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた研究開発 - 汚染機構の解明 -

福島第一原子力発電所内の汚染水は、建物のコンクリート壁や炭素鋼等の構造物と接触し、放射性物質が収着又は沈澱し建屋内に残留することが懸念されます。これらの移行挙動やその量は、廃止措置の際に発生する廃棄物の処理処分を検討するために必要です。

そこで、グローブボックス内において、プルトニウムを含む溶液に試験片を浸漬し、溶液中の核種濃度変化を分析することで、移行挙動を評価しています。



移行挙動モデル



セメント試験片の浸漬状況

2019年度実施項目：

コンクリート材料に加えて炭素鋼への移行挙動を評価するための浸漬試験を実施予定です。